

*2012年7月改訂（記載要領変更に伴う改訂）

服用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

第2類医薬品

漢方製剤

本草防風通聖散エキス錠-H

ほんぞうふうとうしょうさん

本草防風通聖散エキス錠-Hは漢方処方「防風通聖散」を煎じて服用する不便をなくし、簡便に服用出来るようにエキス錠とした製品です。

⚠ 使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

1. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと
他の瀉下薬（下剤）
2. 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - (1)医師の治療を受けている人。
 - (2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3)体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
 - (4)胃腸が弱く下痢しやすい人。
 - (5)発汗傾向の著しい人。
 - (6)高齢者。
 - (7)今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
 - (8)次の症状のある人。
むくみ、排尿困難
 - (9)次の診断を受けた人。
高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	胃部不快感、はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
間 質 性 肺 炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝 機 能 障 害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
下痢

（裏面もお読み下さい）

4. 1ヵ月位（便秘に服用する場合には1週間位）服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
5. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効能・効果

体力充実して、腹部に皮下脂肪が多く、便秘がちなものの次の諸症：
 高血圧や肥満に伴う動悸・肩こり・のぼせ・むくみ・便秘、蓄膿症（副鼻腔炎）、湿疹・皮膚炎、ふきでもの（にきび）、肥満症

用法・用量

次の量を1日3回食前または食間に服用すること。

年齢	1回量	1日服用回数
大人（15歳以上）	4錠	3回
15歳未満	服用しないこと	

成分・分量

12錠〔大人1日服用量〕中、次の成分を含有する。

成分	12錠中
防風通聖散水製乾燥エキス末 （キキョウ……………1.00g サンシシ……………0.60g） （ビャクジュツ……………1.00g レンギョウ……………0.60g） （カンゾウ……………1.00g ハ ッ カ……………0.60g） （オウゴン……………1.00g ケイガイ……………0.60g） （セッコウ……………1.00g ボウフウ……………0.60g） （ダイオウ……………0.75g マ オ ウ……………0.60g） （ト ウ キ……………0.60g ショウキョウ……………0.20g） （シャクヤク……………0.60g カ ッ セ キ……………1.50g） （センキュウ……………0.60g ボウショウ……………0.75g） より抽出。）	2.50g

添加物として、セルロース、炭酸Ca、酸化チタン、メタケイ酸アルミン酸Mg、クロスCMC-Na、ステアリン酸Mgを含有する。

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管すること。
- (2)小児の手の届かない所に保管すること。
- (3)他の容器に入れ替えないこと。（誤用の原因になったり品質が変わる。）
- (4)使用期限をすぎたものは服用しないこと。

本品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

本草製薬株式会社 お客様相談室
 〒468-0046 名古屋市天白区古川町125番地
 電 話：052-892-1287（代表）
 受付時間：9:00～17:00（土、日、祝日を除く）

【副作用被害救済制度のお問い合わせ先】
 （独）医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
 電 話 0120-149-931（フリーダイヤル）

本草製薬株式会社
 名古屋市天白区古川町125番地